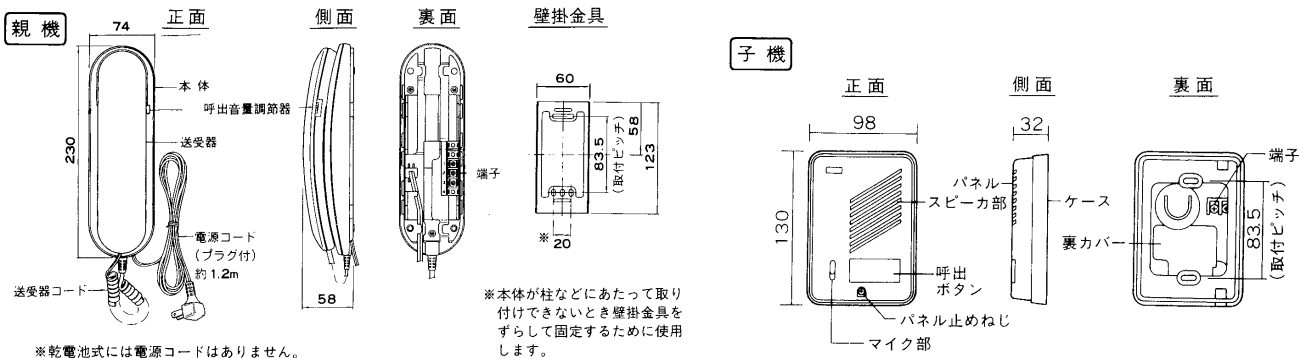


対象機種

乾電池式親子セット：HTUA-1KD(H)、HTUAX-1KD(H)…HTUA-1K(W) (ビュアホワイト)とHTUA-D(H) (ビスタグレ)のセット
 乾電池式親子セット：HTUA-1KD(K)、HTUAX-1KD(K)…HTUA-1K(K) (ストレートブラック)とHTUA-D(K) (ストレートブラック)のセット
 電灯線式親子セット：HTUA-1PD(H)、HTUAX-1PD(H)…HTUA-1P(W) (ビュアホワイト)とHTUA-D(H) (ビスタグレ)のセット
 電灯線式親子セット：HTUA-1PD(K)、HTUAX-1PD(K)…HTUA-1P(K) (ストレートブラック)とHTUA-D(K) (ストレートブラック)のセット
 乾電池式1局用親機：HTUA-1K(W) (ビュアホワイト)、HTUA-1K(K) (ストレートブラック)、電灯線式1局用親機HTUA-1P(W) (ビュアホワイト)、HTUA-1P(K) (ストレートブラック)

このたびは東芝インターホン〈ドアホンエースUシリーズ〉をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めのインターホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

各部のなまえと大きさ (単位：mm)



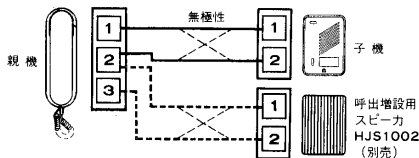
特にご注意を

- 雷や電力線からの誘導電圧による機器破壊、誤動作、雑音混入をさけるため、屋外架空配線や、AC100V等の電力線との並行配線はおやめください。
- 本体は分解しないでください。
- 乾電池式の場合、長期間使用しないときは乾電池を取りはずしてください。乾電池の漏液で故障の原因になることがあります。
- 電灯線式の場合、電源は必ず家庭用のAC100Vのコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントに接続しますと、雑音が発生したり故障することがあります。
- AC100V用のチャイムの配線は親機と子機間の配線にそのまま使用することはできません。チャイムの配線をご使用の場合はチャイムをお取り付けの電気工事店様にご相談ください。

取り付けかた

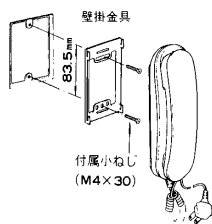
- 別売の呼出増設用スピーカ(HJS1002)を接続しますと、親機から離れた場所でも、呼び出し音を聞くことができます。(通話はできません)

① 組み合わせ接続例

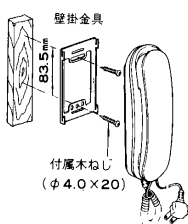


② 親機の取り付けかた

① 1個用スイッチボックスのとき

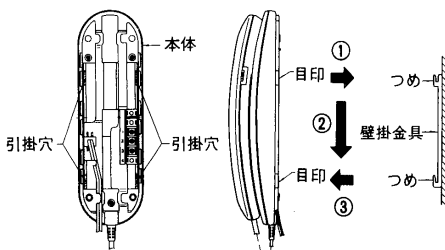


② 柱や壁のとき



- 電灯線式の場合、電源プラグはAC100Vのコンセントに差し込んでください。
- 乾電池式の場合、裏面の「乾電池の入れかた」をご覧ください。

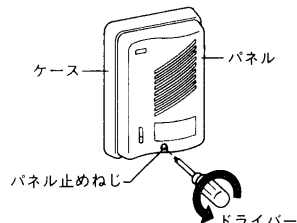
●壁掛金具に掛ける手順



- 端子に配線を接続したのち次の手順で取り付けます。
- ① 本体裏面の引掛穴に、目印にあわせて壁掛金具のつめを入れ
- ② 下方に引いてください。
- ③ 手前に引いて確実に掛かっていることを確認してください。

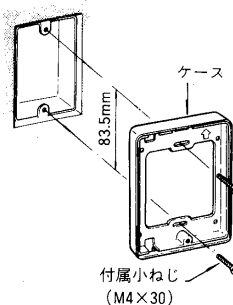
③ 子機の取り付けかた

- ① パネル止めねじをゆるめてケースからパネルをはずします。

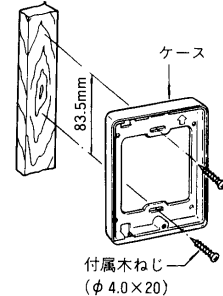


- ② ケースを付属のねじで固定します。

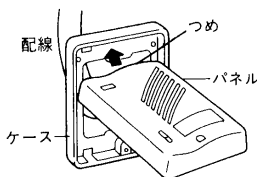
① 1個用スイッチボックスのとき



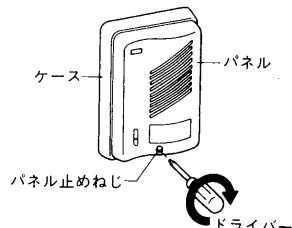
② 柱や壁のとき



- ③ 端子に配線を接続したのち、パネルの上部のつめをケースの上部にはめ込みます。



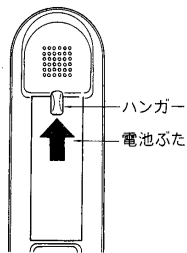
- ④ ケースにパネルをはめ込み、パネル止めねじをしめて固定します。



乾電池の入れかた

●乾電池は単三形乾電池(SUM-3)を4本使います。

■電池ぶたの外しかた



●ハンガーを上方に押し、電池ぶたをずらして取り外します。

●乾電池収納部に表示されている方向にあわせて乾電池を入れてください。

■乾電池を入れ終わりましたら電池ぶたをかぶせて下方にずらしてください。

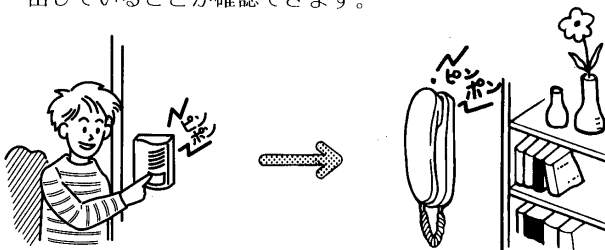
■乾電池を交換するときは、全部新しいものと取り換えてください。古い乾電池や種類の違う乾電池とまぜて使うのはおやめください。

使いかた

■子機から親機の呼び出し

子機の呼出ボタンを押しますと親機から呼び出し音(ピンポン)が鳴ります。

このとき子機からも呼び出し音が小さく聞こえ、呼び出していることが確認できます。



■呼出増設用スピーカ(HJS1002;別売)を使用しますと、子機から呼ばれたときに呼出増設用スピーカからも呼び出し音(ピンポン)が鳴ります。(通話はできません)

■呼ばれたら

呼び出し音が鳴ったら送受器をとりあげ、そのままお話しください。親機の送受器は正しくあて、特に送話口は口もとに近づけてお話しください。

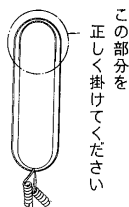


■親機から子機を呼び出すとき

親機の送受器をとり、そのまま呼びかけて直接子機を呼び出してください。

■通話が終わったら

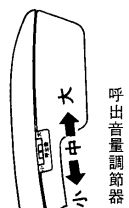
通話が終わりましたら送受器をもとのように正しく掛けてください。正しく掛けませんと子機から呼ばれても呼び出し音が鳴りません。



■呼び出し音量の調節は

送受器右側面の呼出音量調節器で大・中・小の3段階の調節ができます。お好みの音量に調節してご使用ください。

●呼出増設用スピーカの音量は呼出音量調節器の位置にかかわらず一定(大)です。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、乾電池式の場合には、乾電池を取り外し、電灯線式の場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

ご注意とお願い

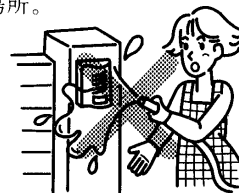
このインターホンの親機は屋内専用で-10℃~+50℃の範囲、子機は屋内屋外兼用で-25℃~+60℃の範囲で使用するように設計してあります。取り付けの際にはご注意ください。

■親機は次に掲げる場所には取り付けしないでください。

- 電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
- 直射日光のあたる場所。
- 製氷倉庫など-10℃以下になる場所。
- 風呂場など特に湿度の高い場所。
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い場所。
- 水や薬品がかかるおそれのある場所。

■子機は防雨形ですが、直接ホースなどで水をかけないでください。

直接水をかけますと故障の原因になります。



お手入れのしかた

- 本体はやわらかな布でからぶきしてください。汚れがひどいときは石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- 機器をいためますのでガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふかないでください。

仕様

	乾電池式の仕様	電灯線式の仕様
●電源	DC6V(単三形乾電池4本)	AC100V 50/60Hz 共用
●定格消費電流	50mA	
●定格消費電力		待受1W, 最大2W

以下は乾電池式、電灯線式共通仕様

- 通話方式 親機：電話形同時通話式
子機：スピーカ形同時通話式
- 呼出信号 電子チャイム音(ピンボン)
呼出音量調節器付(3段切替式)
- 配線本数 2線(無極性)
- 通達距離

線種	公称断面積 (本/mm)より線	0.3mm ²	0.5mm ²	0.75mm ²	2mm ²
(mm)単芯線		12/0.18	20/0.18	30/0.18	37/0.26
距離(メートル)		150m以下	250m以下	350m以下	1000m以下

- 設置場所 親機：屋内専用
子機：屋内・屋外兼用
- 色調 親機
HTUA-1K(W)、HTUA-1P(W)……ピュアホワイト
HTUA-1K(K)、HTUA-1P(K)……ストレートブラック
子機
HTUA-D(H)……パネル、ケース、呼出ボタン：
ビスタグレー
HTUA-D(K)……パネル、ケース、呼出ボタン：
ストレートブラック
- 外観材質 プラスチック
- 使用温度範囲 親機：-10℃~+50℃
子機：-25℃~+60℃